

論文審査の要旨

報告番号	修 第 1328 号	氏 名	古 川 浩 次
論文審査担当者	主 査 下 司 映 一 教授 副 査 上 條 由 美 教授 副 査 大 崎 千恵子 准教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本論文は、</p> <p>「夜勤明け超過勤務の削減対策のとして用いたタイムスケジュール表とタイムスケジュール表に基づくワークシートの効果を明らかにし、看護師の働き方を考えるための知見を導き出すことを目的とした。本ツールの利用により、業務をシステム的かつ効率的に遂行でき、超過勤務時間の削減を可能となり、問題を解決することで専門性を追求する働き方へと変化することが分かった。」</p> <p>とするものである。</p> <p>本論分の内容は、1. 研究目的の明確性、2. 研究方法の妥当性、3. 研究効果と考察の妥当性、4. 研究の独創性、5. 研究成果の発表能力、において修士論文としての基準を満たすものである。</p> <p>特に、本論文から得られた知見については、先行の知見を活用して超過勤務時間の削減の要因やそれに伴う看護師の認識の変化を説明している。今後、本論文をもとに研究を継続することで、看護師の働き方や職場環境の更なる改善と、患者の医療安全の担保が期待できる。さらに、本論文は看護の現場の働き方に関する視点での研究であり、看護の現場に貢献できる内容である。</p> <p>以上より本論文は学術的価値が高く、修士論文に値するものと判断した。</p>			